

1.

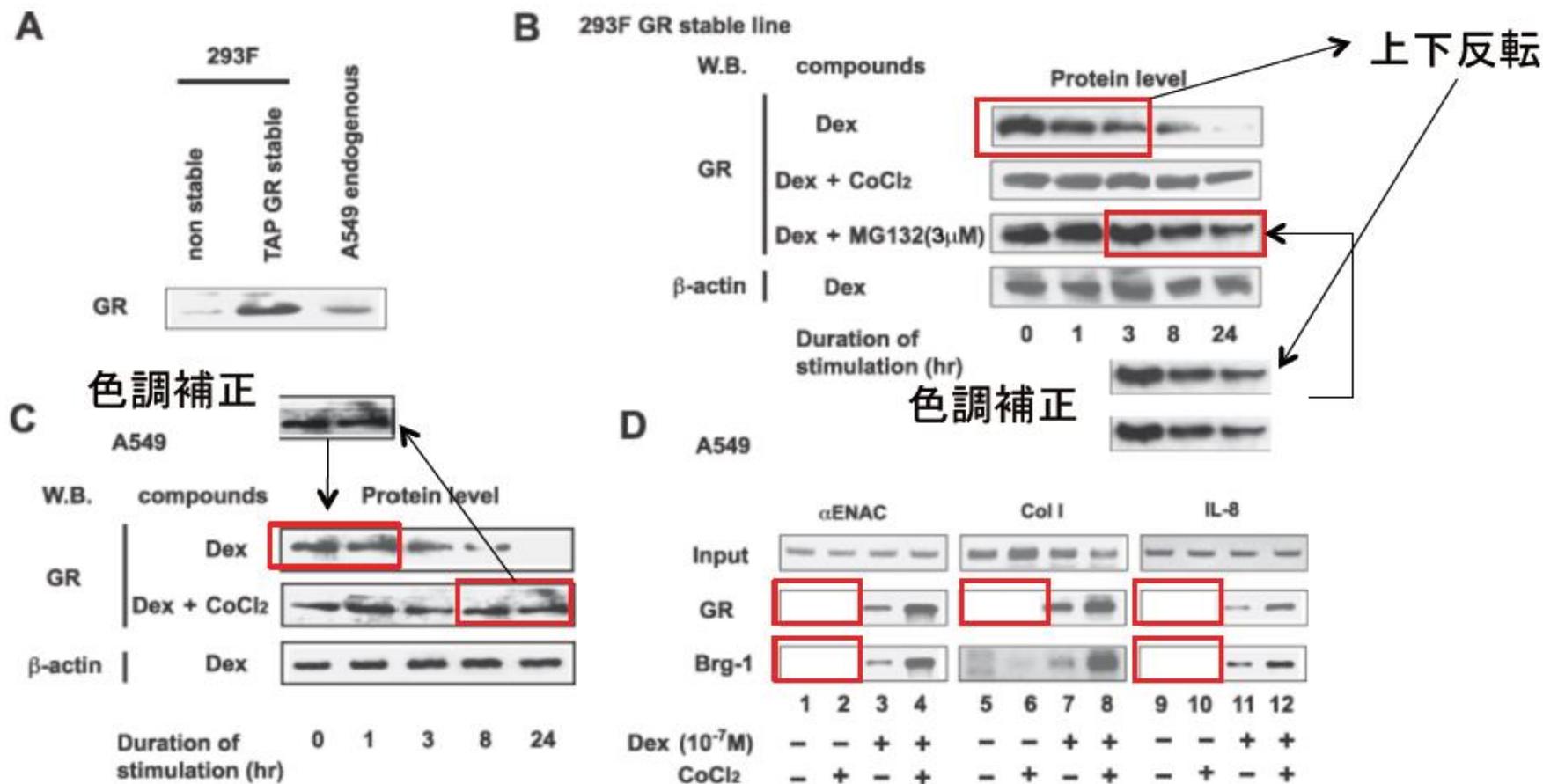
H. Kitagawa, et al.,

“A reduction state potentiates the
glucocorticoid response through receptor
protein stabilization,”

Genes to Cells, **12**, 1281-1287

2007

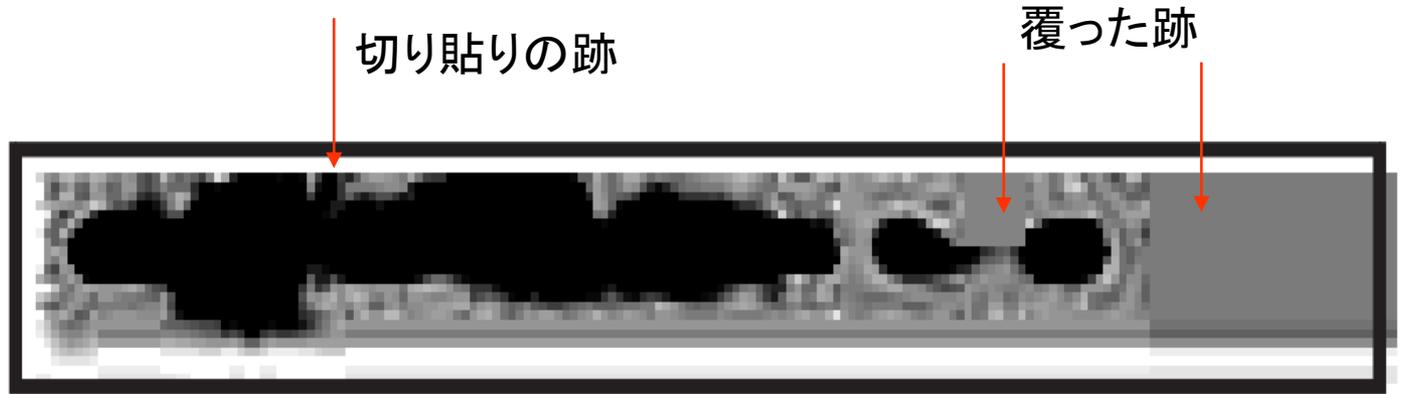
Figure 3



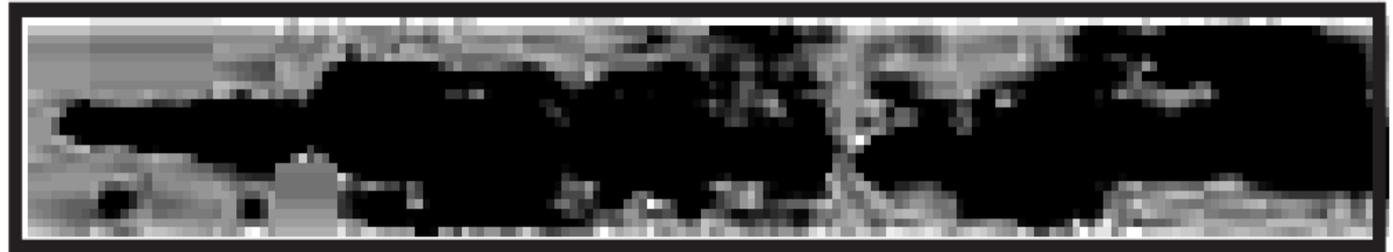
塩化コバルト添加によるグルココルチコイド受容体の安定化を示す実験

上下反転を伴うゲル画像の多重使用。白い長方形(あるいは意図的にデータ無し)によるバンド画像の消去。

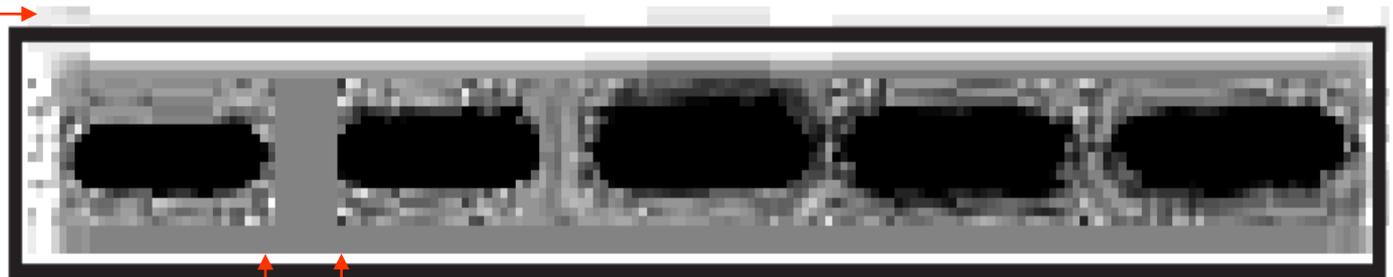
Dex



CoCl₂



ここま
あるので
多重合成
の跡か



切り貼りの跡

2.

H. Kitagawa, et al.,
“A regulatory circuit mediating
convergence between Nurr1 transcriptional
regulation and Wnt signaling,”

Molecular and Cellular Biology, **27**, 7486-
7496

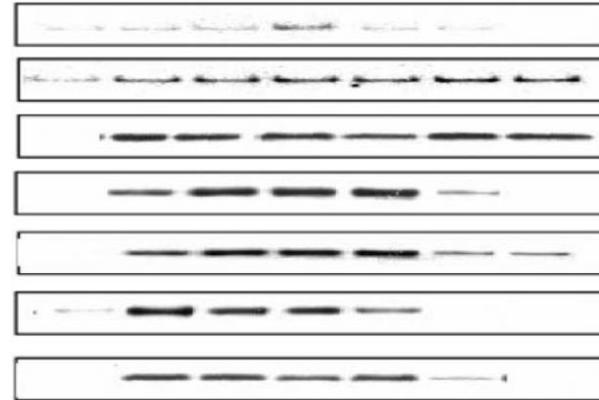
2007

Fig. 5A

A

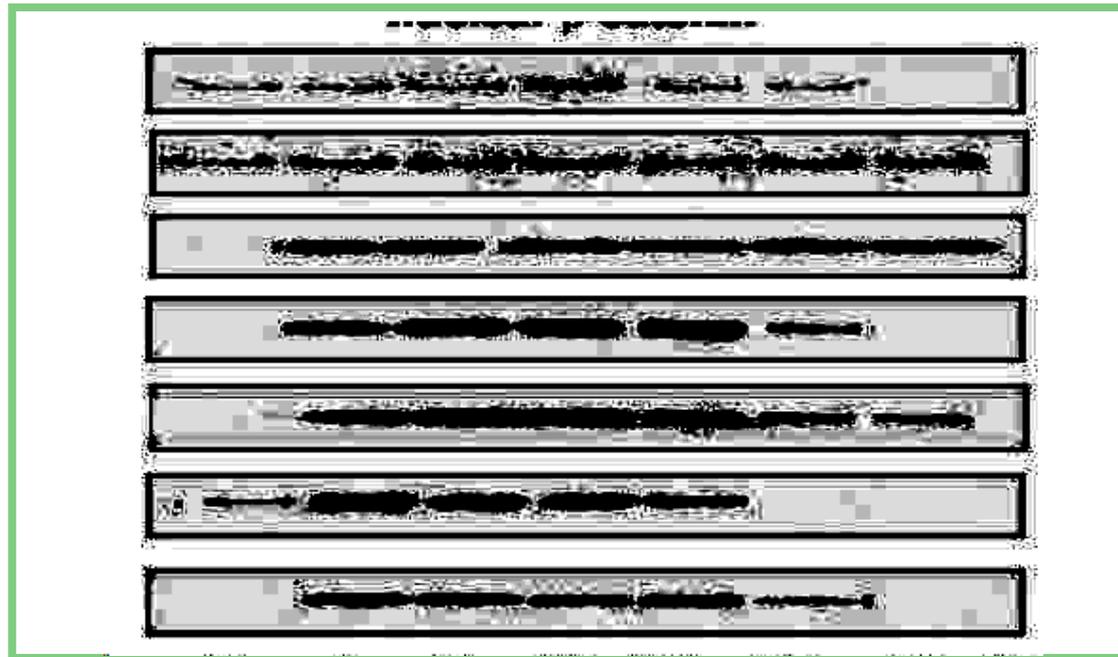
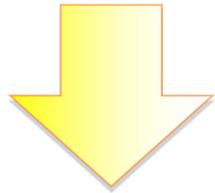
nuclear β -catenin

SK-N-MC
Nurr1-RNAi
293F
Nurr1 wt
Nurr1 M97V
Nurr1 H103R
Nurr1 Δ Y122



0 3 8 16 24 36 48 (hr)

コントラストを上げると



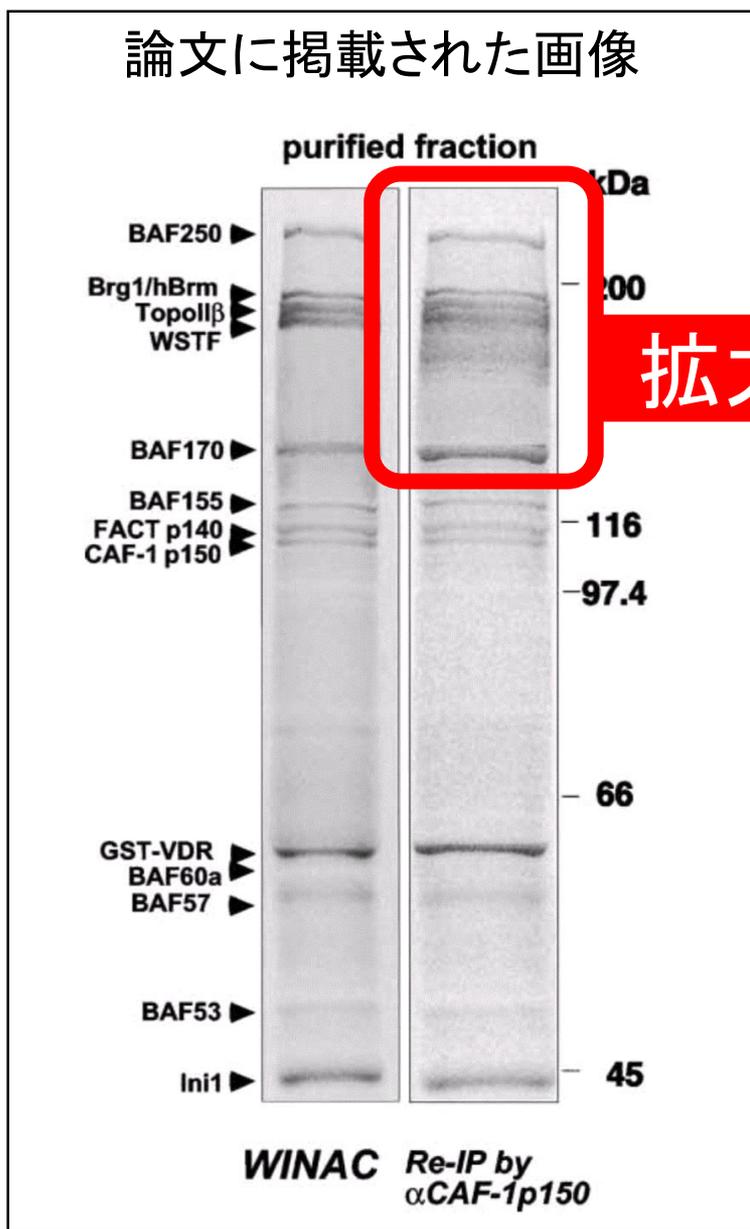
明らかに画像を加工した痕跡が多数現れる。

3.

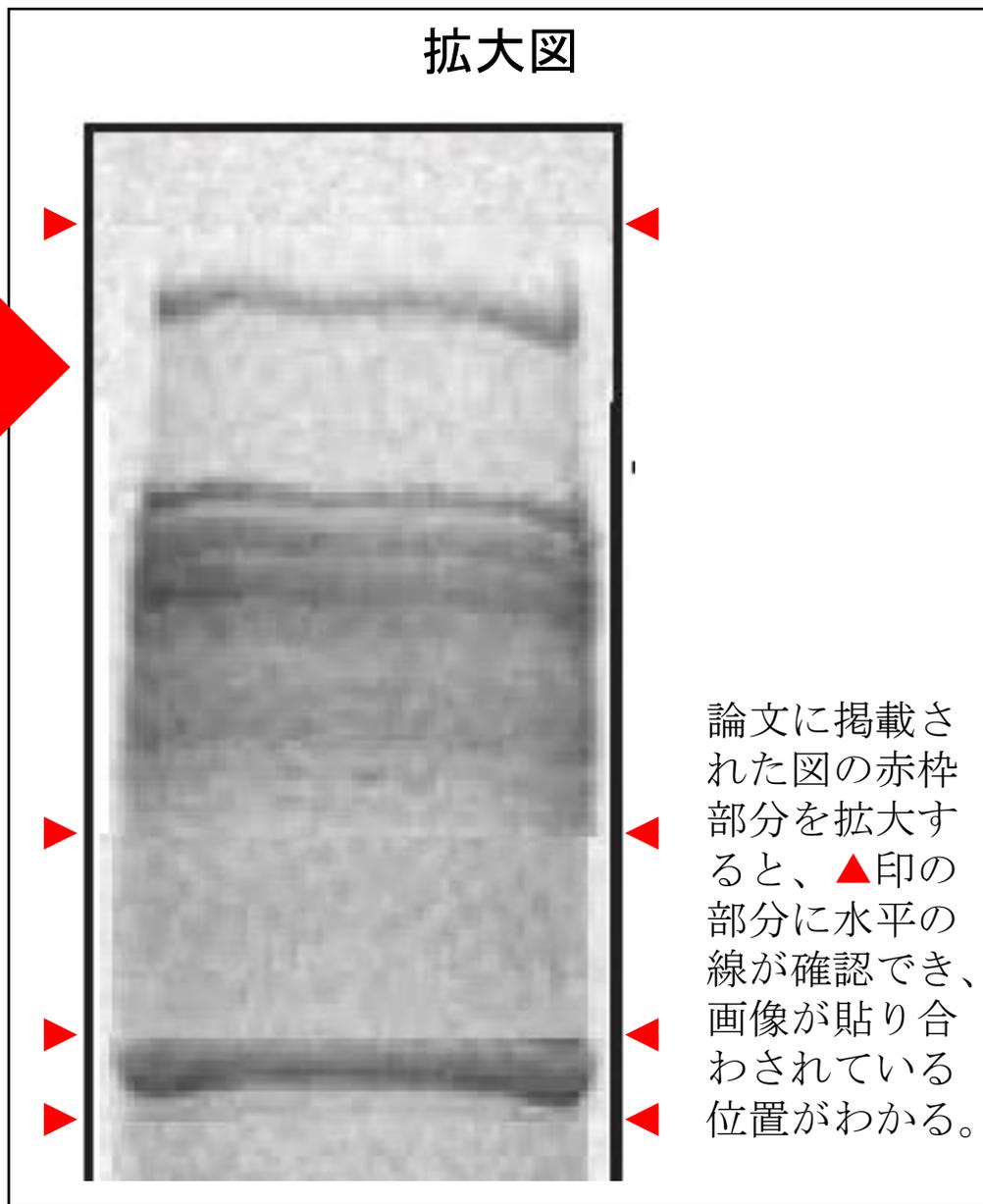
H. Kitagawa, et al.,
“The chromatin-remodeling complex
WINAC targets a nuclear receptor to
promoters and is impaired in Williams
syndrome,”

Cell, **113**, 905-917

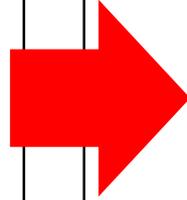
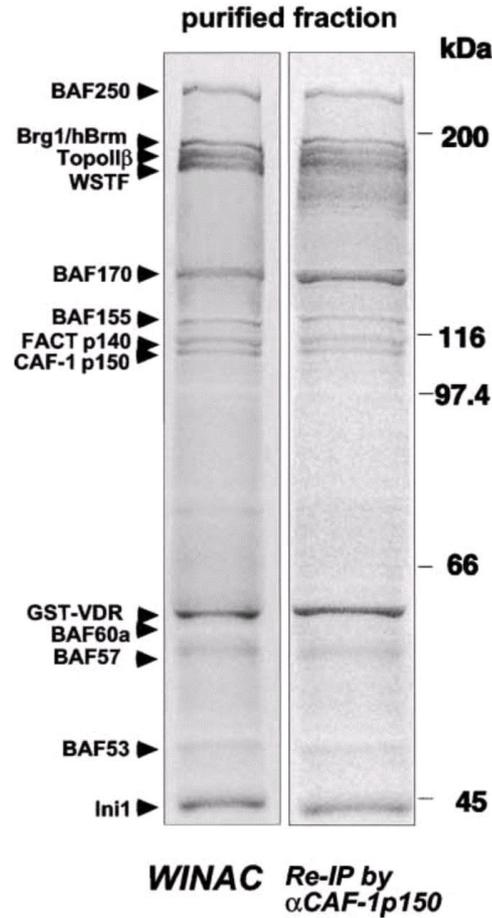
2003



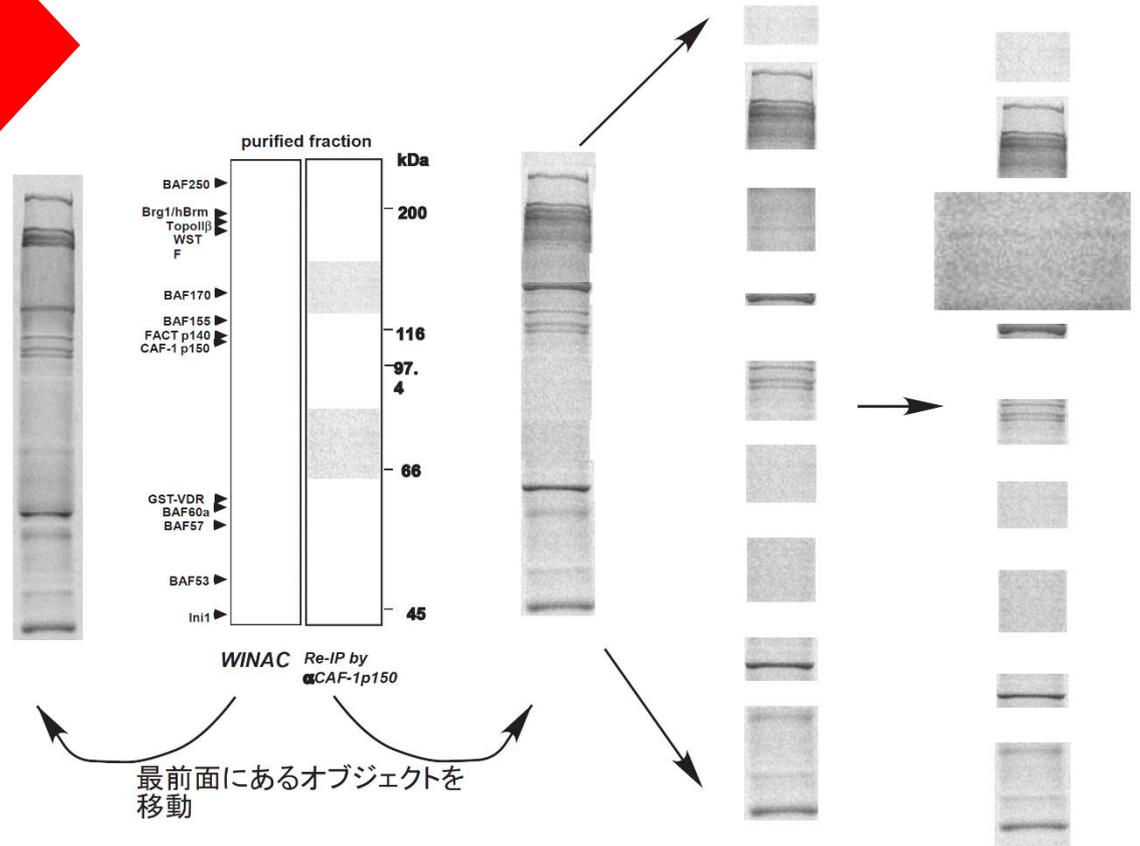
拡大



論文に掲載された画像



解析結果



この図の場合は画像編集ソフトに残された編集履歴をたどることで、上に示したとおり画像の貼り合が確認された。

4.

H. Kitagawa, et al.,
“Ligand-selective potentiation of rat
mineralocorticoid receptor activation
function 1 by a CBP-containing histone
acetyltransferase complex,”

Molecular and Cellular Biology, **22**, 3698-
3706

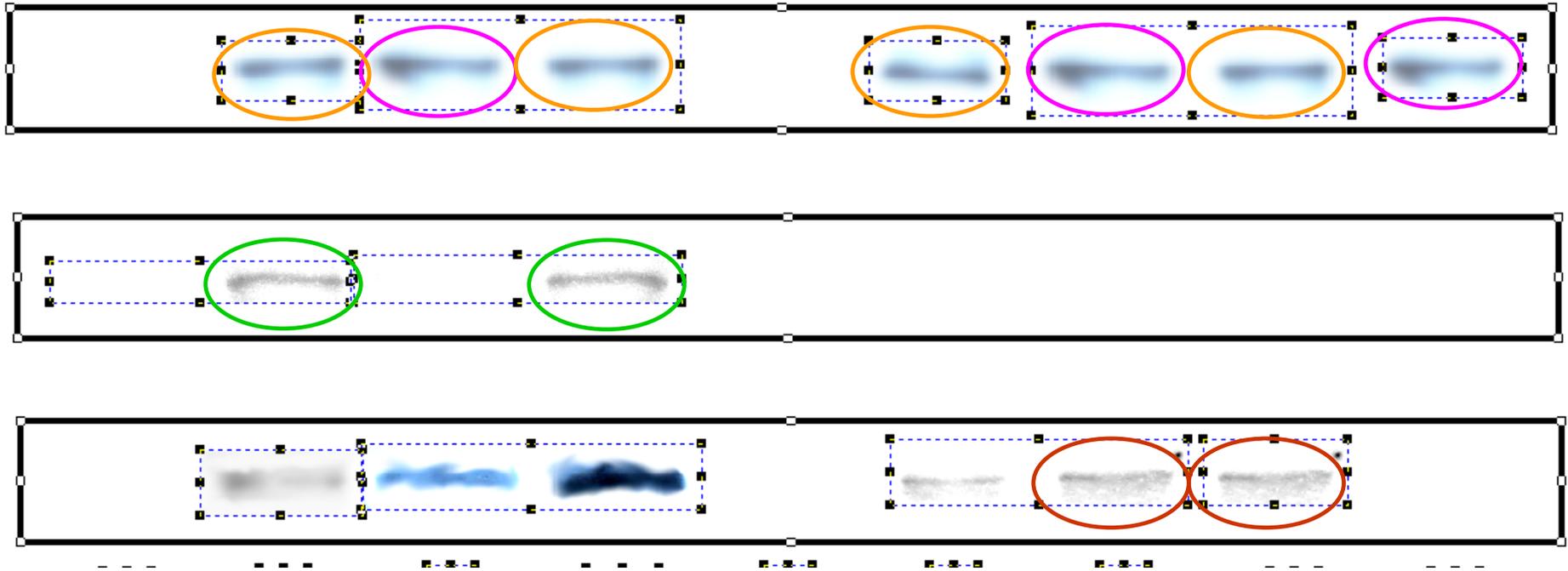
2002

Fig. 4B

細胞内におけるRNAヘリカーゼ／CBP複合体の
リガンド選択的な鋳質コルチコイド受容体のAF-
1a部位へのリクルート

Molecular and Cellular Biology, 22, 3698-3706

バンド画像の多重使用

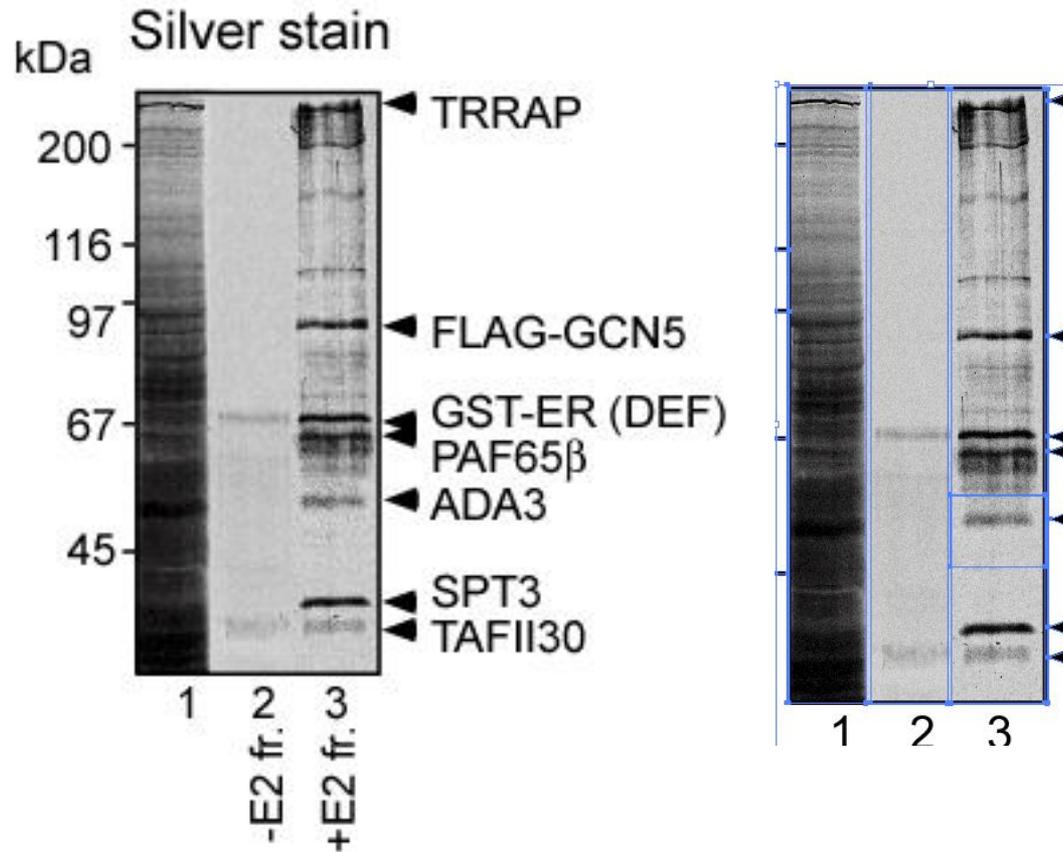


5.

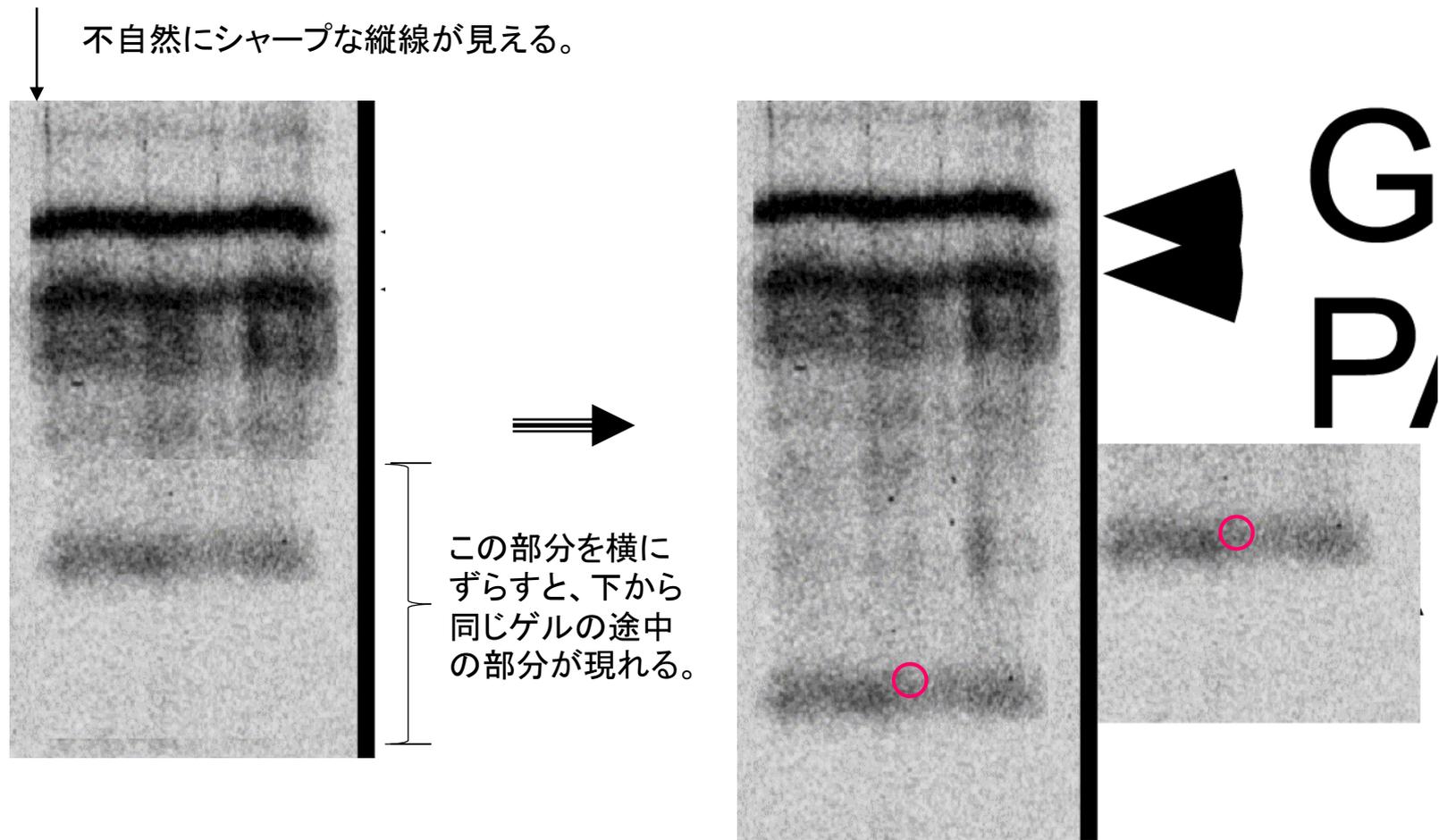
J. Yanagisawa, et al.,
“Nuclear receptor function requires a
TFTC-type histone acetyl transferase
complex,”

Molecular Cell, **9**, 553-562

2002



この電気泳動の写真は3つのパネルの貼り合わせであり、バックグラウンドも違うので、異なるゲルからの切り貼りである。レーン1と3が複数のゲルバンドの合成である。特にレーン3のADA3のバンドは45K付近のバンドを切り出してずらしたものである。さらに、GST-ER付近ではシャープな線が見える。



○で示したゴミからも、同じレーンの下にあるバンドを切り取って重ね、ADA3のバンドとしている。

